

生徒と保護者と先生の共育ニュースレター

Growing

September 2016
Vol. 49
毎月10日発行

【今福教室】 城東区今福西 2-9-20 TEL.06-6934-4662	【今福第2教室】 城東区今福西 2-16-8 TEL.06-6931-2000
【諸口教室】 鶴見区諸口 4-14-9-1F TEL.06-6912-3984	【関目教室】 城東区関目 4-6-17-2F・3F TEL.06-6934-8117
【今津教室】 鶴見区今津南 1-6-2-1F TEL.06-6167-9722	【古市教室】 城東区古市 3-21-8 TEL.06-6931-0467

活用型問題対策講座を開講いたします。

活用型問題(国・英・数)は、3教科20点以上の
差が開く可能性が…。

受験の合否を大きく左右し、付け焼刃では
間に合わないと認識してください。



高木 秀章(塾長)

あつという間に夏休みが終わりました。夏休みといえば、オリンピック。日本人選手達の活躍、本当に感動しました。私が特に印象に残ったのは吉田沙保里選手の銀メダル。才能もあり、努力も怠らず、五輪と世界選手権合わせて16連覇。勝つことがニュースになるスポーツの世界で、負けたことがニュースになり、日本国中を驚かせてしまう吉田選手のすごさ。百戦錬磨の彼女が、敗戦に人目をはばからず号泣し、「申し訳ない」を連呼していた姿にも、彼女がいかに驕らず、自分と対峙してきたかを感じさせられました。

五輪の選手に負けず?カイチの子供達も、夏期講習を頑張りました。朝には、小学生、お昼には受験生達が、夜には中学1・2年生たちが、入れ替わり立ち替わりやってきて、先生達も教室もフル回転でした。受験生の中には、教室が開く9時から自習に来て、午後の授業に参加し、夕飯を食べてまた夜も自習に来ている生徒もいました。

特に受験生にとっては、授業ごとに小テストが行われ、その結果は記録され、出来るまで再テストになります。厳しい講習会でしたが、クラブや学校の宿題と両立しながら、みんなよく頑張ったと思います。

2学期に入り、カイチでは新しく活用型問題対策講座を開講いたします。

活用型問題とは、与えられた情報を基にし、自分の意見や主張を論理的に述べる記述形式の問題ですが、大阪でも文理学科などで数年前から出題されています。そして、昨年度の入試制度改革により、全ての学科で出題され、さらに評価制度が本番重視になったことで、国語・英語などで全体の10%~20%の配点を占める活用型問題に、いかに対応するかが受験の合否を分けるポイントとなっています。

※別紙資料として、京都の堀川高校探求学科群の人文・社会科学の改題を掲載していますのでご参照ください。

時間内で問題文中から必要な情報を的確に読み取る「読解力」と、読み取った情報の背景にある「時事的な知識」(この場合ならば産

業の空洞化)、そして、それらを論理的に組み合わせ自分の主張を持つための「論理力」さらに、それらを文章として表現する「書く力」が求められます。活用型の問題が求めるこれらの学力は、付け焼刃で決してつけることができない学力の「地力」とも言える力です。

そして、受験問題の変化は既に全国的には10年前から始まっており、東京や神奈川のトップ校では、推薦入試や特色問題という形で、各校が独自に活用型の問題を作成し出題しており、むしろ大阪は後発という印象を受けます。

このように受験問題そのものが大きく変わった背景は、皆様もご存知の通り、2020年大学入試制度の改革が影響しています。従来の受験で求められてきた力は「知識・技術」に偏重していましたが、今後は、これらに加え、「思考力」「判断力」「表現力」「主体性」「多様性」「協働性」なども評価対象に加え、より総合的な学力を評価するものに变化します。

教育制度変更の流れから考えても、活用型問題が出題され、それが受験の合否への影響を強めていく流れは、一層強まることが考えられ、大学入試では、中学時代からこのような学習を積み重ねてきた全国の子供達と競うこととなります。

私達はこの活用型問題対策講座を、高校受験の対策としてはもちろんのこと、その先を見据えた大学受験での基礎力の育成という位置づけも考えております。

詳しくは、授業内でお知らせを配布いたしますが、9月中は3回の無料体験授業を実施し、10月より本格的にスタートいたします。

教育制度が変化し、各ご家庭ではご不安も多いことかと思えます。このような激動の時代であるからこそ、地域に根差した私達学習塾が子供達、保護者の方々のためにできることがあると考えております。私達は、受験を通して、地域の皆様を全力でお支えしたいと考えております。これからもどうぞ宜しくお願いいたします。



CLASSROOM REPORT 教室レポート

諸口教室の夏 みんな元気一杯、頑張っています！

坪田 陽一（諸口教室）

この原稿を書いているのは8月の初め。小中学生は夏期講習の真っ最中です。猛暑と突然の豪雨に悩まされつつも、みんなサボることなく通ってきてくれています。素晴らしい！珠算やバスカルキッズの子供達もみんな元気ですが、こんな暑い中では、送迎されているお母様達の方が大変そうです。この記事がお手元に届くころにはもう少し過ごしやすい気候になっているのでしょうか。何はともあれ諸口教室の様子をお伝えします。

珠算は、高木先生を初めとして、須田先生と久佐子先生の3人の先生で総勢70名ほどの生徒を見ています。特に入門の子には、最初の指の使い方が大事ですので、横について丁寧に指導します。級が上がるのがモチベーションアップにつながるようで、みんな一生懸命に練習しています。私自身はそろばんの指導に入っていますが、事務室で高木先生と須田先生が、子供達や珠算の指導方法について相談しているのを知ると、「〇〇君、最近上手になってきましたよね〜」「〇〇ちゃんが掛け算で躓いているから〜という風に指導しよう」など、本当に一人ひとりについて細かく見ているし、よく考えながら指導に当たってくれていると思います。

バスカルキッズでは読書で読む本が増えてきています。先ごろ私自身がお気に入りの絵本「モチモチの木」「100万回生きたねこ」などが本棚に登場しました。よく読み継がれている絵本には、大人が読んでも何かしら心に響く言葉があります。たまに、年長さんに読み聞かしていると、他の子もいつの間にか聞き入っていたり、また私自身も本の世界に入り込んで、ついつい最後まで読んでしまい、時間をオーバーしてしまったりすること。今度、小学生や中学生にも休み時間に読むように勧めようと思います。また、日記についても、毎回「今日〇〇をしました。…」では面白くないので、「その後の浦島太郎」「アンパンマンの中はこしあつかつあんか」「俳句」など、月ごとにテーマを与えられて書く時間ができました。例えば「その後の浦島太郎」では、「白いひげのおじいさんになってし

まった浦島太郎はその後どうしたか」に対して「サンタクロースになった」「家へ帰ってひげをそった」など、なかなか面白いことを書いてくれるので、いつも楽しませてもらっています。大人はつつい子供を枠や型にはめてしまい、小言を言ってしまったりしますが、こんな自由奔放な発想を大切にしたいと思っています。

小学生は、夏期講習中も元気いっぱいです。朝から講習が始まりますが、内容は復習と問題演習がメイン。講習会から初めて来ている子も多く、みんな日焼けしてさすが真剣な顔で問題に取り組んでいます。理科実験は、小6は昨年に引き続き「ドローンについて」小5は「リニアモーターカー」、小4は「空気砲」です。小5・6では映像を見せ、社会情勢に触れながらの学習となりました。小6ではドローンを室内で飛ばしましたが、操縦が難しく、壁や天井にぶつかって満身創痍の状態。しかし、ディスカッションでは対決形式で、大盛り上がり。賛成派2名対反対派14名で白熱した議論になりました。小5では電磁石を作成しましたが、コイルを巻くところで絡まってしまったりして苦戦。小4では実験というより工作でしたが、これもなかなか進まず、みんな苦戦していました。先生達はかなり神経を使って少々疲れましたが、それでも、紙の上で学習と違い、手先を動かして何かを作り上げたりする楽しさは味わってもらえたようです。

中学生は人数が増えました。中1はそろそろ2クラスにしないと目が行き届かなくなる恐れが出てきましたので、9月以降にクラス分けを行う予定です。4月段階ではまだまだ「小学生」だった生徒達も、この頃はだいぶ顔つきも変わって、授業中の真剣な視線に成長を感じます。講習会から入った子も多いので、その子達に授業中の態度や帰宅時の私語禁止などに（常に？）厳しく指導に当たっています。「大人の話素直に聞く」ことができなければ成績は上がりませんので、まずはそこからです。

中学2年生も夏期講習前にクラス分けテストを行い、希望者で基準を満たした子を特進クラ

スに移籍させ、新たなスタートを切りました。特進クラスの人数は一気に倍増しましたが、雰囲気も緩むことなく、今のところ緊張感をもって取り組んでくれているようです。中2が中だるみの時期ですので、ここでまた目を光らせておく必要があります。

中3は受験に向けて大量の学習量を課しています。カイチの夏期講習では、講習中にやりきる内容が決まっていますが、講習半ばのこの時点で、科目によってはすでに終わっているものも出てきています。そのように、受験生としてきちんと意識を切り替えて学習に取り組んでいる生徒がいる一方で、学校の宿題もまだ中途半端という状態の子もいます。当然、学力面で大きな差がついています。7月の三者面談でも意識を変えるように話をしていますし、授業中も話をしていますが、全員が一丸となって受験に向けて学習に取り組む、ということまではなかなかいきません。それでもこの夏期講習での時間の使い方が、志望校合格の重要なカギですので、とにかく声をかけて意識を変えていくように取り組んでいるところです。

我が坪田家の長女も受験生です。志望校が明確で、少々足りないのも自覚しているようで、毎日のように近くの塾へ自習に行っています。私自身も初めて「受験生の親」というものを経験しています。親として思うのは、とにかく「中途半端にして後悔はしてほしくない」ということ。ですので、子供が少しでもだらけていたら、つい小言を言ってしまう気持ちは痛いほど分かります。ですが、あまりに張りつめてしまうと、気持ちに余裕がなくなり、その結果友人とトラブルになり、かえってマイナスになったりするのもまたよくあること。はっぱをかけるのは塾の先生に任せて、親としてはまずは「見守る」、その上で相談事は塾の先生など第三者に持っていくのがよいと思われます。まずは夏期講習残りの期間、各クラスしっかりと指導を行い、2学期からの良いスタートを切れるようにしていきたいと思っています。



Education



KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

いよいよ2学期が始まりました。 受験校決定まで76日…。

熊谷 周作 (今津教室)

早いもので、夏休みが終わり、いよいよ2学期が始まりました。2学期は、受験生にとって、右の表を見ても分かるように、テストが目白押し、受験校を決定するテストが続く、気を抜けない重要な時期です。

苦しかった夏期講習が終わり、夏休みの宿題も出せた。ちょっと一息…。その気持ちはわかりますが、もし、このGROWINGが配布されている9月上旬にまだゆっくりしている人は、右のスケジュールをよく見て考えてください。

10月に実施される大阪市統一テストは、あくまでも5教科に関してですが、成績上位を取れば内申点が約束される、内申点が足りない生徒にとっては大きなチャンスとなるテストです。11月の実力テストは各中学が受験を希望する私立高校訪問時に資料として各学校に提出する資料となります。11月実力の結果が、基準に満たない場合は、10月が救済資料として使われます。つまり、私立の志望校を受験できるかどうかは、この2回の実力テスト次第です。

更に、塾内の進研模試が11月に、五ツ木模擬は11月が関西圏で受験者数が最大の模試になります。もちろん、私立フェアや学校説明会時の面談資料での参考資料には10月・11月共に使われますので、試験に慣れるためにも9月からの受験をお勧めします。

しかも、実力テストの勉強だけをすればいいわけではありません。10月中旬には中間テスト、11月下旬には期末テストがあります。内申点が足りない生徒(おそらく余裕のある受験生などいません)にとって、他教科評価にも含まれるこれらのテストは絶対外せません。もちろんこれらの対策には各2週間、合計4週間は取られてしまいます。

このGROWINGを受け取っているのが9月15日とすると、重要なテストが続くのは11月末まで、9月15日～11月末までの約76日から定期テスト対策の4週間分28日を引くと、志望校決定に大きな影響を与えるこれらのテストに割ける日程は48日。残り48日で皆さんの志望校が決まります。

ここで、皆さんに意識してもらいたいことが時間の使い方です。まずは、あと48日で受験校が決まる。時間がないことをしっかり認識してください。そして、その上で、時間の使い方を考えます。時間の使い方とは具体的には2つ。時間を作ることと、その時間をいかに有効に使うかです。

時間の作り方については、まず隙間時間を上手に使うことです。皆さんは毎日トイレに行きますね。トイレには年表や、忘れやすい単語の一覧など貼る。トイレは毎日行く場所です。トイレの3分、76回見続ければ、覚えられない方が難しいと思います。

それから、学校の先生は、チャイムと同時に先生は入ってくるでしょうか。チャイムが鳴って先生が来るまで2、3分あることはないでしょうか。授業中には演習時間があります。早くできて退屈なことはないでしょうか。1日でこのような時間を合わせれば、少なく見積もっても30分あるはず。毎日の30分を11月までの通学日数53日分で考えると、26.5時間。問題集を1冊できる時間ができます。

そして、最も取り組んで欲しいのが、1時間早く起きて学習に取り組むことです。朝の時間は、頭の回転が速く、学習がはかどります。実は、先生も大切な仕事は全て朝のうちにやっけてしまいます。この1時間は、他の時間の1.5倍から2倍の価値があると先生は考えています。しかも、「今日は朝、勉強してるから」という心の余裕が生まれます。受験で焦ってしまうこの時期の、心の余裕はとても大切です。

9月	●実力テスト
10月	●大阪市統一テスト ●五ツ木模試 ●実力テスト ●中間テスト
11月	●五ツ木模試 ●進研模試 ●実力テスト ●期末テスト
12月	私立受験校決定 冬休み
1月	●学年末テスト ●進研模試
2月	●私立入試 ●公立高校特別入学者選抜
3月	●公立入試 ●公立高校一般入学者選抜

更に、夜暗記を行い、朝に暗記を確認することで驚くほど暗記は定着します。数学の問題も、夜考え、答えを見ない、解決しないでそのまま寝て、翌朝、解いてみると驚くほど解けるようになっていきます。これは是非実行してほしい学習法です。(先生も使っています。)
実は、睡眠は、記憶を定着させる、考えを整理するという役割を担っていることが、脳科学でもわかっています。これで、睡眠時間も有効に使うことができます。

確かに、受験まで時間はありません。でも、みんなは苦しい夏期講習を乗り越えました。毎日塾がある上に、山ほどある小テストに追い回され、宿題をどっさり出され、叱咤激励され、それでも多くの生徒が朝から自習にきていました。皆さんは、他の受験生に絶対負けていません。しかし、皆さんは他の受験生と戦っているのではありません。なりたい自分になるため、そのための志望校に合格するために自分と戦っているのです。

そのためには、時間がない現実と向き合い、時間を作り、その使い方を工夫することです。
どうかその戦いに打ち勝ち、春には志望校合格を勝ち取りましょう。

COLUMN: 先生紹介 ▶ 山崎 弘貴 (今津教室)



こんにちは、今津教室で働くことになりました、山崎弘貴です。今回は自己紹介をしたいと思います。

私は中学、高校では毎日野球をしていました。特に高校ではほとんど全てのエネルギーを野球につき込んでいました。今思い返すと、大変なこともたくさんあったと思います。本気で取り組んでいた部活は、7、8割が苦しみで残りの2割くらいが楽しさでした。その2割の楽しさの中に、やり遂げたという達成感や友人と共に過ごした楽しい時間があったおかげで部活を続けることができました。また、

大学に入ってから、ラクロスをやっています。ラクロスはクロスと呼ばれる棒で叩きあってボールを奪い合い、ゴールを入れる地上最速の格闘球技と呼ばれています。気になる人は調べてみてください。

部活を通して思ったことが、勉強も部活と一緒だということです。苦手な科目を勉強するのは、正直苦しさしかありません。ですが、苦手を克服し、両親や友人、先生から激励をもらったり、達成感を得られたりすれば、勉強のモチベーションも高まり、勉強の楽しさを味わえます。

さて、3年生は言わずもがな、受験が控えていて夏明けから少しずつ不安が増してくるかもしれません。ですが、心配しても何も変わらないので、1日ずつ計画を立てて、小さな目標を達成していきましょう。特に、まだ部活を引退していない人は周りが勉強

しているように見えて必ず不安になります。隙間の時間で英単語や社会、理科を覚えていけば受験に勝てます。全ての教科を完璧にしていけるのがもちろん理想ですが、それよりも取れる問題をしっかり取るの方が大切になってきます。そろそろ過去問なども解き始めるとは思いますが、計算ミスしないように自分にプレッシャーをかけて解いてほしいと思います。

1日1日を無駄にせず頑張ってください。



ラクロスで使用するクロス。これでボールを奪い合う。



熊谷のちょっと イイ話

TEACHER'S VOICE

熊谷 真宏 (今福教室)

読書をする習慣を

約1カ月に及ぶ長い夏期講習が終わりました。私は今回初めて中学3年生の国語を担当したのですが、指導する中で改めて痛感させられたことがあります。それは、「読む力」がいかに大事かということと、そしてその力を育むためには、幼い頃から読書量を積み上げなければならないことです。全員に聞いたわけではありませんが、国語の問題で高得点を取れる子は、やはり幼い頃から継続的に読書をする習慣がついている傾向にあります。

それを踏まえて考えると、パスカルキッズの授業で普段行っている読書が、いかに子供達にとって大切かということが分かります。

年中さんでまだ十分にひらがなが読めない段階でも、読み聞かせてあげることがその子の後の人生に大きな影響を与えます。

ただし、パスカルキッズの読書の時間だけではどうしても足りません。大切なのは、お家で読書をする習慣をつけることです。そのためには、保護者の方の協力が必要です。一番よい方法は、子供の隣で一緒に本を読むこと。保護者が読書好きなご家庭のお子さんは、同じく読書好きに育つ可能性が高いです。カイチでは、パスカルキッズでの本の貸し出しだけでなく、「小学生で読んでおきたい50選」「中学生で読んでおきたい50冊」など推薦図書のリストもご用意しております。ぜひ読書を親子で共有していただけたらと思います。



カイチからのお知らせ

- 第6回教育講演会を経営コンサルタント野元泰秀氏を迎え
9月17日(土) 14時00分～15時30分(13時30分開場)に実施いたします。
- 小学部診断テストを9月28日(水)に実施します。
- 夏期講習最終日に受験した模擬試験結果の返却は9月下旬～10月上旬を予定しております。